砺波農林

緊急予防治山相倉山腹工事
岡部が6150万円で落札

富山県砺波農林振興センターは25日、「緊急予防治山相倉山腹工事」を条件付き一般競争入札（総合評価方式簡易型Bタイプ、施工体制確認型）で開札した結果、6150万円（予定価格6245万円）で岡部が落札した。

工事場所は南砺市相倉中谷歩地内、工事概要は山腹工0・1ha―落石予防工（ロープ伏工）A＝924・0㎡、落石予防工（接着工）A＝6・7㎡で、工期が12月6日までとなっている。

新川農林

双子池地区工事用道路設置工事
森長組が落札

富山県新川農林振興センターは25日、「ため池整備双子池地区工事用道路設置工事」を条件付き一般競争入札（総合評価方式簡易型Bタイプ、施工体制確認型）で開札した結果、3050万円（予定価格3094万円）で森長組が落札した。

工事場所は魚津市小菅沼地内、工事概要は道路工L＝132・6m―工事用道路L＝132・6m（W＝4・0m）で、工期は12月20日まで。

宇奈月ダム法面等計測解析業務
地整黒部
サンコーコンサルが落札

北陸地方整備局黒部河川事務所は21日、「平成31年度宇奈月ダム法面等計測解析業務」を簡易公募型競争入札（総合評価落札方式）で開札した結果、900万円（予定価格919万円）でサンコーコンサルタントが落札した。

業務内容は、宇奈月ダム左岸法面、貯水池法面挙動の安定を確認するため、巡視及びデータ監視と変動状況等の解析とりまとめを行う業務で、主な内容は法面監視（巡視・データ監視）一式、排砂、通砂時対応（監視・巡視・結果報告）一式、法面監視報告資料作成一式。履行期間が平成32年2月28日までとなっている。

砺波農林

桜ヶ池幹線用水路第2工区工事
安達建設が落札

富山県砺波農林振興センターは25日、「水利施設合理化桜ヶ池幹線1期地区桜ヶ池幹線用水路第2工区工事」を条件付き一般競争入札（総合評価方式簡易型Bタイプ、施工体制確認型）で開札した結果、4920万円（予定価格5018万円）で安達建設が落札した。

工事場所は南砺市信末地内、工事概要は水路工L＝144・6m―第6種水路工（JF―（B）1900×（H）1100（浮力対応型））L＝96・8m、付帯工（分水工、落差工、段差工、転落防止柵ほか）一式で、工期が令和2年3月13日までとなっている。

沖の宮1号線側溝改修

氷見市
泉組が落札

氷見市は25日、「市道沖の宮1号線側溝改修工事」を条件付き一般競争入札で開札した結果、2490万5000円（予定価格2490万8000円）で泉組が落札した。

工事場所は柳田地内、工事概要は土工一式、自由勾配側溝400型L＝42・6m、舗装工A＝27・4㎡、付帯工一式で、工期は9月6日まで。

「一生懸命を楽しもう」

奥田中バスケットボール部コーチ
坂本 穣治氏（坂本吹付工業）

八村塁選手、夢のNBAへ

坂本穣治氏

富山市出身でアメリカのゴンザガ大学3年生の八村塁選手は、日本人として初めてとなる世界最高峰バスケットボールリーグNBAの1巡目指名を受けた。全体9位でワシントン・ウィザーズから指名を受けた八村選手。この快挙に日本中、そして富山が沸いている。

日本人初となるドラフト指名でのNBA入りを決めた八村選手は、富山市奥田中学校の出身で、同中学校バスケ部でこの快挙への礎を築いた。NBAへの最初の階段を共に歩み、八村選手を育てたのは、同中学校バスケ部コーチの坂本穣治氏だ。本紙ではこのほど、八村選手をNBAに導いた軌跡とその指導法、そして、これからの若者に向けたメッセージなどを聞いた。

ボールを手掴み「NBA並みだ」

八村塁は、中学校の入学当初バスケ部には入っておらず、仮入部にも来ていなかった。

当時、部員らに「チームが試合に勝つためにも、背の高い選手を連れて来なさい」と言って、話題に出たのが八村だった。私も八村の存在を知っていたので、部員らにお小遣いを渡し、アイスクリームでも何でもいいから買ってあげて、一度見学に連れてきなさいと言い、ようやく練習に来た。それが私と八村の出会い。

勿論、練習では八村を特別扱いするわけでもなく、他の部員と同じ様に指導を始めた。基礎となるボールを床から起こすドリルを行った際に、ミニバスケットボールの経験がある部員は、苦労もせずにこなすわけだが、八村は言ってみれば素人。涙目になって四苦八苦していた。その時私は八村に、「君は手が大きい。ボールを掴んで持てるのではないか」と声を掛けたところ、野球ボールを持つかのように持ち上げた。その時初めて八村に、「NBA並だね」と声を掛けたことを覚えている。

NBAドラフト会議で、1巡目でウィザーズから指名を受け、コミッショナーのシルバー氏（左）と握手する八村塁

熱き仲間の存在

バスケを始めた頃の八村は、お世辞にも上手ではなかったが、部員の熱心な指導や助けもあり、「よく考えてみなさい。最初何も出来なかった君がここまで成長出来たのは、朝練習に付き合ってくれたり、シュートを教えてくれたりした、ここにいる仲間のお陰ではないのか」と。この問いに八村も理解を示してチームが一つになり、3年時には富山県で初となる全国中学生選手権の準優勝に結びついた。

感謝、そして一生懸命

時には練習を怠けたりすることもある。そんな時は、「NBAに行く気があるのか」と八村に檄を飛ばした。そうすると、またやる気に満ちて頑張った。奥田中バスケチームの横断幕には「いろんな人にありがとう。だから今日も一生懸命」を掲げているが、一生懸命を楽しむこと。これを絶えず言い続けた。

もの凄く高い目標に辿り着くには、毎日の一瞬が辛いことの連続。これは到底続けられるものではない。八村は努力を努力として捉えていなかったし、バスケを遊びとして楽しんでいた。八村が本当に辛かったのは、アメリカに行った際の語学習得ではないか（笑）。

ビックリボールになろうぜ

人は苦しい事を忘れようとするし、辛く苦しい気持ちをすぐに切り替えて気分転換をしたがるもの。教え子達に継続して言っていることは、楽しいことも苦しいことも全ての経験を自分自身の「核」にどんどん詰め込むこと。中身が空洞のピンポン球では、大きな反動を期待できないが、中身（経験）がぎっしり詰まったスーパーボールであれば、強い衝撃（辛い困難な事）が生じた際に、一気に上へ登り詰めることができるかもしれない。壁が立ちはだかった際に乗り越える準備が必要。そんなスーパーボールのような「ビックリボールになろう」と常々話している。

夢中になってチャレンジ

若者は、とにかく自分の好きなものを見つけて欲しい。私は富山工業高校建築科を卒業したが、授業や先生の話が本当に楽しかった。課題に行き詰まった時は、建設会社に勤めている先輩にアドバイスを求めたりもした。

そして、若者を指導する人は、嫌いなものを好きにさせる環境づくりや努力が必要だ。ただ叱るのではなく、人間性を見極める力や言葉の選択が重要になってくる。バスケの教え子だけでなく、自社の社員にもこうした事を意識して接するように心掛けている。

仕事は楽しくないといけない。経営者は、普段の仕事を楽しくさせるための演出する力が必要。仕事を楽しむためにどう演出してあげるかが鍵になる。

夢を持つことは大事だが、知識や理論が先走ってはいけない。毎日どれだけやっても楽しいこと、夢中になれるものを探し、チャレンジして欲しい。

■坂本穣治（さかもと・じょうじ）■

富山工業高校建築科卒業後、建築仕上げ材のヤブ原産業（東京）に5年間勤務し、坂本吹付工業に入社。28年間、奥田中学校バスケットボール部のコーチを務めており、現在は富山市バスケットボール副理事長。高校時代は青森国体に出場し、富山工業高校初となる県大会優勝の原動力として活躍した。教え子には八村塁選手のほか、日本代表の馬場雄大選手もいる。趣味は「教え子の笑顔を見て感動すること」と照れ笑う。昭和35年1月2日生まれ。59歳。